

【第 1 回八戸市総合計画策定委員会（10/9 開催）】
市民参画における委員質疑の対応方針について

第1回八戸市総合計画策定委員会の市民参画の審議において、委員質疑における対応方針について、正・副委員長にご相談のうえ、まとめたものを御報告いたします。

発言 委員	発言 主旨	事務局 当日回答	対応 方針
市民アンケートに関する御意見			
委員	回答率を上げる工夫や回答者のメリット(インセンティブ等)になる取組を行った方が良いのではないかな？	ネット回答を可能としたほか、直感的な回答がしやすい設問を用意しました。他の取組についても検討いたします。	本調査は満18歳以上の市民から無作為抽出された 3,000 人及び市政モニター112 名を対象として実施するもので、40%強程度(約 1,200 人)の回収を見込んでおり、一般的には八戸市の人口規模の場合、400 件程度の有効回答が得られれば、統計的に十分な精度が確保できるとされております。 回答率を上げるため、インセンティブ等を検討しましたが、市民自らが市政に関与するという意識の度合いを測る観点と上述のとおり十分な回答数が見込まれるよう対象を3,000人に設定しておりますことから、インセンティブを設定せずに実施したいと考えております。 なお、回答期間中に別途ハガキによる協力をお願いを発送するほか、後述の QR コードを活用したアンケートを実施することで一層の回答数の確保に努めてまいります。
委員 ・ 委員	QR コードを公共施設に掲示してアンケート収集を行ってはいけなか？	検討いたします。	より多くの方からご意見をいただくため、無作為抽出と同じ内容のアンケートを、QR コードからも回答できるようにします。公共施設への掲示や、SNS・広報はちのへでお知らせする予定です。 この場合、市外居住者も回答できることから、回答側においては予め市内居住・市外居住を選択できるようにし、当該アンケートの集計に関して、市外居住・市内居住を分けて管理いたします。 委員会に提示する資料では、当初の市民アンケートを本資料、QRコードを活用したアンケートを参考資料として提示いたします。

発言 委員	発言 主旨	事務局 当日回答	対応 方針
市民アンケートに関する御意見			
委員	無作為抽出の条件は？	完全ランダムです。 ※右記参照	【資料5掲載内容】 当日回答を訂正いたします。 毎年度の市民アンケートでは、地域別人口を考慮し、性別、年齢別で無作為抽出する層化抽出法で行っておりましたので、今回も同様といたします。
意見収集に関する御意見			
委員	将来を担う子どもたちや子どもを持つ親に対して、意見を聞く取組を行ったほうが良いのではないかな？	検討いたします。	新たにこどもモニター制度を活用したアンケート調査を行います。また、資料5に掲載しておりますが学生を交えたワークショップも行います(12/20 美術館で調整中)。
委員	外国人材が増えているため、外国人材関係分野から意見を聞いた方が良いのではないかな？	グループヒアリングの中で対応を検討いたします。	【資料5掲載内容】 グループヒアリング先のひとつとして、外国人材関係を対象といたします。
その他御意見			
委員	ビジュアル的な総合計画の策定は大切な視点であり、市民の参画意識醸成のためにも総合計画のロゴマークの作成・活用を検討してはいいかがか？	検討いたします。	ビジュアル的な総合計画の策定は大切な視点であるため、策定委員会における基本構想がある程度固まってきた時期において、公募などを活用したロゴマークの作成については別途検討させていただきます。
委員	小学生の頃、10年後の八戸市の絵を描いた記憶がある。そうすることで、親子で10年後の未来を考えるきっかけになるのではないかな？	御意見として承ります。	策定中あるいは策定後、総合計画の内容に関する市民周知・参画については大切な視点となるため、周知等に関する取組については別途検討させていただきます。
委員	各課で策定される個別計画の状況や意見についても庁内で横連携を図りながら事務局資料を作成してほしい。	御意見として承ります。	【資料1掲載内容】 職員で構成する部局横断の若手プロジェクトチーム会議(若手職員)、政策調整会議(各次長)で計画内容を検討しながら策定を進めてまいります。